

# PRESS RELEASE



## 「有孢子性乳酸菌 GanedenBC<sup>30</sup>による高齢女性対象 植物性プロテインからのアミノ酸利用増加」

### 学術誌に掲載

株式会社ヘルシーナビ  
www.healthynavi.co.jp

### 研究結果

株式会社ヘルシーナビ(本社:東京都大田区、代表取締役:井上 俊忠)では、Kerry社製の有孢子性乳酸菌 GanedenBC<sup>30</sup>において、高齢女性を対象にした植物性プロテインからのアミノ酸利用増加に関する新しいヒト臨床試験が2022年12月に「*Probiotics and Antimicrobial Proteins*」誌に掲載されたことを確認しました。

有孢子性乳酸菌である GanedenBC<sup>30</sup>は、小腸内で発芽しプロテアーゼを産生することで、プロテインからのアミノ酸やペプチドを増加させることが分かっており、今まで *in vitro*、*in vivo*において動・植物性プロテインからのアミノ酸・ペプチドの利用増加を確認していました。また、2020年には *Nutr Metab (Lond)*誌に平均年齢26.4歳の被験者を対象に動物性プロテインからのアミノ酸増加を確認したヒト臨床試験が報告されました。

そしてこの度、「*Probiotics and Antimicrobial Proteins*」誌に掲載されたのは、高齢女性(平均年齢58.5歳)を対象にした植物性プロテインからのアミノ酸利用増加についての研究結果になります。

この試験では、前回の臨床試験同様、摂取期間2週間、ランダム化二重盲検クロスオーバーで行い、植物性プロテイン単独摂取群に対して植物性プロテイン+BC30(10億個/日)摂取群のアミノ酸吸収増加率(AUC比)が、アラニン(+6.0%)、システイン(+4.7%)、トリプトファン(+8.0%)、総アミノ酸(+3.8%)、総必須アミノ酸(+4.4%)で有意に増加し、その他6種類のアミノ酸や総BCAAでも有意傾向としての増加が確認されました。

今回の結果は、前回の臨床試験に比べて群間での有意差や有意傾向が確認できたアミノ酸が増えており、特に総アミノ酸や総必須アミノ酸で群間有意差が確認できたことは特筆すべき点になります。また、これまでの試験結果も併せて考えると、GanedenBC<sup>30</sup>は、若年層から高齢者まで幅広い世代でプロテインからのアミノ酸利用を増やすことが可能であり、また植物性プロテインの動物性プロテインに比べ吸収効率が劣るというデメリットも改善できるユニークな機能性を有するプロバイオティクスであると言えます。

### GanedenBC<sup>30</sup>の特徴

有孢子性乳酸菌(*Bacillus Coagulans*) GanedenBC<sup>30</sup>は、プロテインの有効活用をサポートするプロバイオティクスです。GanedenBC<sup>30</sup>をプロテインとともに摂取することで、プロテインの消化を助け、アミノ酸の吸収を増加させます。また運動能力の増強、リカバリー能力の改善が認められています。

- ✓ 動・植物性プロテインからのアミノ酸利用の増加
- ✓ HMB( $\beta$ -ヒドロキシ- $\beta$ -メチル酪酸)、ミネラルの吸収増加
- ✓ 筋肉痛および知覚回復の有意な改善
- ✓ 運動誘発性のパフォーマンス低下を防止(ウイングートテストの最大パワーによる測定)
- ✓ 整腸作用:腹部の痛み、膨満感、排便回数を改善
- ✓ 免疫賦活作用: ウィルスに暴露した際の免疫応答力を高める

日本国内でのマーケティング・販売はユニキス株式会社(東京都中央区)と共同で行っております。